

## 県立高等学校における工事の入札手続の誤りによる入札の取消しについて

県立安西高等学校において、トイレ改修工事に係る指名競争入札を実施したところ、指名通知書に記載した予定価格が誤っていたことが判明したため、入札の取消しを行った。

### 1 経緯とこれまでの対応

- 令和3年1月13日に安西高等学校で実施したトイレ改修工事に係る指名競争入札(12者指名)において、予定価格を事前公表しているにもかかわらず、応札した6者の内、1者のみが予定価格の範囲内で入札し、他の5者は予定価格を超過して入札があった。
- 入札執行者は、予定価格の範囲内で入札した1者を落札候補者とし、入札を終了した。
- 入札終了後、学校で入札に係る書類等を確認したところ、指名業者に配付した指名通知書に記載した予定価格について、落札候補者とした1者を除く11者に誤った予定価格を記載していたことが判明した。
- 令和3年1月13日に全ての指名業者に入札の取消しを伝え、謝罪を行った。
- 後日、再度、適正な入札手続を行う。

### 2 原因

- 指名通知書の作成に当たり、当該校では表計算ソフトを活用し、データ用のシートに予定価格等のデータを入力することにより、各業者宛ての指名通知書のシートに反映されるファイルを使用していた。
- しかし、データ用のシートに予定価格を入力する際に入力誤りがあり、指名通知書のシートに正しい予定価格が反映されたのは1者分のみで、他の11者分については正しい予定価格が反映されず、誤った予定価格で指名通知書を作成し送付していた。

### 3 再発防止策

- 入札事務は公正性の確保が求められる事務であり、各県立学校に対し、適正な入札事務を行うよう周知徹底を図る。
- 当該校においては、正しい指名通知書が作成されるよう使用ファイルの書式等の改善を図るとともに、文書の確認方法等の見直しを行う。